

2023年1月号 FP武蔵野グループ



渡辺公雄
CFP、社会保険労務士

年金額は上がるけど…～年金額改正と物価～

本年最初のメルマガとなります。本年もよろしくお願いいたします。

さて、令和5年度は年金額がかなりアップすることになります。

そして、年金額の改定率が初めて2種類になるのです。

	令和4年度（前年比）	令和5年度（前年比）
新規裁定者（67歳以下の方）	- 0.4%	+ 2.2%
既裁定者（68歳以上の方）		+ 1.9%

既に年金を受給している方（68歳以上の方）は、67歳以下の方と比べて、0.3%ダウンとなります。こういう微妙な法改正が行われていたわけです。

今回は年金額がかなりアップしていますので、「ああ、良かった」と思う人もいるでしょうか。でも昨年、令和4年の平均物価変動率（全国消費者物価指数）は2.5%の上昇です。既に年金を受給している方（68歳以上の方）は、物価と比較して0.6%のマイナスとなります。

更に現在も物価が上がっています。直近、令和4年12月の消費者物価指数は以下の通りです。

- (1) 総合指数は、前年同月比4.0%の上昇
- (2) 生鮮食品を除く総合指数は、前年同月比4.0%の上昇
- (3) 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は、前年同月比3.0%の上昇

特に主婦の方は、急な物価の変動を実感していることと思います。食料品を買う際にも、安売りに敏感になりますね。暖房代も気になるところです。年金額も目減りしていきますから、いかに節約できるか、考えていく必要があります。 - 以上 -